

令和3年度熱利活用普及拡大業務委託仕様説明書

第1 事業目的

本業務では、県内外の自治体や民間施設等の熱利活用事例について、専門家の知見等も踏まえ、システム概要、経済性等について取りまとめた「熱利活用モデル事例集」を作成する。

また、本事例集に掲載した事例モデルの内容等をもとに、県民、県内事業者の理解促進を図り、普及拡大につなげるため、「熱利活用普及拡大フォーラム」を開催するものである。

第2 委託業務内容

(1) 熱利活用モデル事例集の原稿作成

下記の①～③を満たした、県内において熱利活用設備等の導入拡大につながる熱利活用モデル事例集を作成すること。

- ① 地中熱、温泉熱及び未利用熱等その各熱源について、利用にあたっての特徴、メリット等について、概要を整理し記載すること。
- ② 掲載する事例については以下の点を踏まえること。
 - ・ 県内外の自治体施設や民間施設等を対象とすること。
 - ・ 地中熱、温泉熱及び未利用熱等を有効的に活用した事例であって、積雪寒冷地である本県において普及拡大が見込めるものであること。
 - ・ 導入設備のシステム概要や経済性等について整理の上、記載すること。
 - ・ 設備の概要が分かるような写真、図表を、1つの事例につき1枚以上掲載すること。
- ③ 必要に応じて専門家の知見等を記載すること。

(2) 熱利活用モデル事例集の印刷・製本等

以下のとおり、印刷・製本等を行うこと。

①仕様

- ・ A4版、4色刷、26P程度

※ その他仕様については、受託者確定後に協議することとする。

②発行部数

- ・ 1,200部程度

③納品

- ・ 印刷・製本した成果物及び当該電子データを記録したDVD-ROM1枚を青森県エネルギー開発振興課に納品する。
- ・ 電子データは、Adobe Illustrator形式及びPDF形式とする。

(3) 熱利活用モデル事例集の発送

印刷製本品を、発注者が作成した発送先リストに基づき、送付文を添えて、次のとおり配布先に配送する。なお、発送は令和4年3月25日までに終えること。

【主な発送先 約320か所】

- | | |
|----------------------------|---------------|
| ① 青森市、弘前市及び八戸市 | 90部 (30部×3) |
| ② ①以外の県内7市 | 140部 (20部×7) |
| ③ 県内30町村 | 300部 (10部×30) |
| ④ その他関係機関等 | 100部 (10部×10) |
| ⑤ 青森県再生可能エネルギー産業ネットワーク会議会員 | 270部 (1部×270) |

(4) 熱利活用普及拡大フォーラムの開催及び運営

県民及び事業者向けの熱利活用普及拡大フォーラムの開催及び運営を行うこと。

○フォーラム開催概要

開催予定時期：令和3年12月から令和4年2月までの間における、いずれか1日。

開催回数：1回(1日)

開催予定場所：青森市内

なお、新型コロナウイルス感染状況等により一部リモート対応も可能とする。会場については、委託契約締結後に県と協議の上手配すること。

開催内容案：本委託業務で作成する事例集に掲載した事例の発表や、熱利活用に係る講演及びパネルディスカッションなどを実施する。なお、委託業務には、会場手配・経費支払及び講師等への謝金・旅費の支払を含むものとする。

第3 基準額

3,300,000円以内(消費税及び地方消費税を含む。)

第4 委託期間

契約締結の日から令和4年3月25日(金)まで

第5 参考資料 「青森県エネルギー産業振興戦略」

青森県庁ホームページ

<https://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/energy/strategy201603.html>